

## 青春～アオハル～

天童高等学校  
1年次通信第23号  
令和4年11月28日

### 「後期中間考査に向けて その2」

今週木曜日からいよいよ12月に入ります。早いもので今年もこの月を残すのみとなりました。12月はみなさんも知っているとおおり、「師走(旧暦12月の別称)」と呼ばれています。この言葉の意味には諸説ありますが、一番知られているのが「師匠の僧が経をあげるために東西を馳せる月」という説です。つまり、「師匠(先生)もあちらこちら走り回るくらい忙しい月」ということを言い表していますが、別に「為果す(しおほす)」からきているという説もあります。「1年の中でやるべき物事を最後にしっかりと成し遂げる月」という意味です。後期中間考査を目前に控えたみなさんには、この2番目の説があてはまる言葉です。

後期中間考査まで、あと2日となりました。受験にあたって次の3つを話します。

#### 1 考査前の2日間、考査期間中ともに時間を有効に使うこと。

考査の結果は、学習の質・量で全てが決まります。

考査前の2日間、考査期間中については、学習に力を注ぐよう1日の時間の管理を徹底し、1分1秒を無駄にすることなく勉学に励んでください。

特に、スマートフォン等の活用については、仲の良い友達であっても、お互いに学習に集中できる環境にするため、SNSを活用したコミュニケーションについては用件を伝えるのみとする等、必要最小限にしてください。

#### 2 考査期間中は、自身の行動に十分に注意を払うこと。

考査期間中に入ると、午前中にその日の考査終了します。さらに考査4日間の中には週休日も入ります。普段より時間に余裕が生まれますが、この期間については、不要不急の外出は自粛してください。

自分を律して学習に取り組んでこそ、考査本番で本当の力が発揮されるのです。こうした積み重ねを少しずつ行うことで、2年後の3年次を迎えた時に大きな成果となって表れるはずですよ。

#### 3 常に粘り、切り替えの気持ちを持つこと。

苦手科目等、思うように学習が進まない状況や覚えることが多くなると、人間にはどうしても諦めの気持ちが湧いてきます。そんな弱気な気持ちに流されていいのでしょうか？各科目の試験が始まるまでは、「試験前」です。自分に置かれた状況を冷静に捉え、今の自分に何が出来るか、精一杯考え、最後まで「粘り」の気持ちを持って学習に取り組んでください。

また、1つの科目の考査が終了したら、その科目のことは一旦きれいに忘れ、次の科目の受験や学習に気持ちを切り替えることです。考査の全日程が終了した時点もしくは考査が返却された時点で振り返りは十分出来ますから、まずは次に集中するようにしてください。

後期中間考査まであと少し… ファイトです！

年次主任